

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

アッラー（スバーナ ワ タアーラー）の ごめいれいと よげんしゃ の ことば（かれ の うえ に しゅくふくと へいあん あれ）にもとづいて なされる けっこん の けいやく は スナ です。わたしたち の ほんしつ に ふさわしい、ごうほうてき な けいやく を とおして けっこん することは、わたしたち ぜんいん に とり かんしゃ を ささげる きかい でも あります。

しんあい なる ごりょうしん の みなさま！

ねがい が ききとどけられる きんようび の この ひととき、わたし は みなさん に よびかけたい と おもいます。つよい しゅうきょうてき・どうとくてき きばん の うえ に きずかれた あいと おもいやりに みちた かてい を とおして のみ、あんしん な みらい を じつげん することができます。そのような かてい を きずくには、アッラー の しと（かれ の うえ に しゅくふくと へいあん あれ）の つぎ の ハディース が さんこう になります。「ものごとは かんたん に して おきなさい。けっして むづかしく しては いけない。ひとびと には やすらぎ を もたらし なさい。けっして けんおかん を いたかせては ならない」。¹

しんあい なる わかい きょうだい、しまい の みなさま！

あいすべき よげんしゃ（かれ の うえ に しゅくふくと へいあん あれ）は、みなさん に つぎ の ように じよげん しています。「わかい ひとびと よ、あなたがた の なか で けっこん できる ひと は だれ でも けっこん しなさい。しせん を さげ、つつしみを まもる たすけ と なる でしょう。」² よげんしゃ（かれ の うえ に しゅくふくと へいあん あれ）の じよげん に したがって、わたしたち の かちかん に いちつ する かぞく を きずいて ください。かてい を もち、いじ して いく なら、あいじょう と そんけい、 やささと おもいやり、しんせつさと おだやかさ においては けっして だきよう しては いけません。ぜんこの アッラー（スバーナ ワ タアーラー）の 「かのじよたち は あなたがた の ころも、また あなたがた も かのじよたち の ころも」³ という ごめいれい に したがって、じぶん の まわり の かぞく には あいじょう と きばり を もって せつし、あらゆる しゅるい の あく から まもる ように してください。

しんあい なる ムスリム の みなさま！

しゅ（スバーナ ワ タアーラー）は わたしたち への しゅくふく を ゆたか に する きかい として、かぞく を あたえて くださいました。かぞく を もつ こと で もたらされる へいあん を、だれもが たのしみ ましょう。りょうしん の せだいも、わかい せだい も、できる かぎり かんたん に けっこん できるように つとめ ましょう。ごうかさ や ぜいたく の なか に へいあん と ごうふく を もとめる の ではなく、ていねいさと せいじつさに、あいじょう と そんけい に、りかい と けんしん に、すなわち しゅ（スバーナ ワ タアーラー）の およこび の なか に もとめ ましょう。

ほんじつ の ホトバ を、ぜんこの アッラー（スバーナ ワ タアーラー）が おしえたもう ドウアー を もって おわります。「しゅ よ、わたしたち の はいぐう と しそん の なか から、め にも すずやかな [よろこばしい] もの を さずけて ください。わたしたち を、おそれるもの の せんどうしゃ として ください」。⁴

¹ Bukhari, 'Im, 11.

² Bukhari, Nikah, 3.

³ Baqarah, 2/187.

⁴ Furqan, 25/74